

市担当者	記入例①
電話番号	

予防接種の間違い報告書（第1報）

名古屋市記入欄

報告日： 令和7年7月10日（木）

医療機関情報	・医療機関名 ○×クリニック		
	・所在地 名古屋市 ○○ 区 ○○町○丁目○ー○		
	・電話番号 052-○○○-○○○○		
被接種者情報	(フリガナ) ナゴヤ ハナコ	(フリガナ)	
	・被接種者氏名 名古屋 花子	・保護者氏名	
	・生年月日（接種時） 昭和26年5月30日生（73歳11か月）	・性別 男 ・ (女)	
	・住所 名古屋市○○区 ○○町△丁目△ー△		
	・連絡先 (自宅) 052-×××-×××× (携帯) 090-××××-××××		
	・予防接種歴 (間違いにかかるワクチンについては、メーカー、ロット番号を記載すること) R2.12.2 シングリックス1回目 R3.2.20 シングリックス2回目 R7.5.1 シングリックス3回目 (GSK社 Lot. No. X-XXX)		
間違いの概要	・間違い種別 (過剰接種・ワクチン間違い・接種間隔・過剰量接種・対象年齢外・使い回し・不良ワクチン・不適当者への接種・その他 から選択) 過剰接種 (シングリックス2回接種済みだが3回目を接種した。)		
	・予防接種日時 令和7年5月1日（木） 午前・午後10時 間違い種別と内容を簡潔に記入		
	・間違い発見日時 令和7年6月30日（月） 午前・午後10時40分ごろ		
	・内容／原因 (発生に至った経緯・原因、保護者への対応・説明、時系列を含め具体的に記載すること) 6/30名古屋市感染症対策課より当院へ既にシングリックス2回接種済みと連絡があったため、過剰接種が発覚した。 4/1に本人よりシングリックス1回目接種の予約希望の連絡があり、受付がカルテで接種歴のないことを確認し予約を受けた。 4/2カルテで接種歴について事務と看護師で確認しワクチンを発注した。 5/1接種当日に予診票とカルテで接種歴のないことを医師と看護師が確認し、問診時に医師が口頭で当該ワクチンを以前に接種したことがないことを確認のうえ接種したが、2回目まで自院で接種済みであった。当院では3年前の接種歴については予診票の保管のみでカルテへの記載がなかったため過去の予診票の確認を怠り間違い接種となった。 7/1被接種者へ連絡し過剰接種に対する説明と謝罪を行ったが本人は接種した記憶がないとのことであった。また健康被害が現状、発生していないことを確認し何かあれば当院へ連絡するように伝えた。		
	・健康被害発生 ① 無 2. 有 (発見の経緯（いつ、どこからの連絡によりわかったか）、発生の原因（現状の確認体制を踏まえてなぜ起こったか）、保護者への対応（謝罪、健康被害発生有無の確認、説明をいつしたのか）を記入)		
	・再発防止策 (医療機関における今後の対応、反省点・改善点などを記載すること) 当院では予約時、ワクチン発注時、接種前にカルテと母子健康手帳で氏名、年齢、ワクチン、接種歴、接種間隔を確認しているが、3年以上前の接種歴については電子カルテ導入以前で記載がなく、予診票の保管のみであったことを受け、今後は過去の接種歴の電子カルテへの転載及び予約時とワクチン発注時に過去の予診票の確認を行うこととした。		
	接種間違い発生後に、現状の確認・チェック体制からどこをどのように変更し、再発防止策としたのかを記入		
	・再接種 ① 無 2. 有 ・抗体検査 ① 無 2. 有 「有」の場合は、検査方法と結果を記入		
	保健センター等の対応	・調査日 令和 年 月 日 ()	
		(医療機関)	・調査内容等
(被接種者)		・連絡日	
		・内容等	
※ 保健センター記入欄 (医療機関において記入の必要はありません。)			
・公表の有無 1. 無 2. 有 ()			

市担当者

電話番号

記入例②

予防接種の間違い報告書（第1報）

名古屋市記入欄

報告日： 令和7年4月9日(水)

医療機関情報	・医療機関名 ○△医院	
	・所在地 名古屋市 ○△ 区 ○△町○丁目○-△	
	・電話番号 052-△△△-0000	
被接種者情報	(フリガナ) ナゴヤ タロウ	(フリガナ) ナゴヤ ヨシコ
	・被接種者氏名 名古屋 太郎	・保護者氏名 名古屋 良子
	・生年月日（接種時） 令和6年1月19日生（0歳11か月）	
	・性別 ☒男 ☐女	
	・住所 名古屋市○○区 ○○町△丁目△	
	・連絡先 （自宅）052-×××-00×	
	・予防接種歴 （間違いにかかるワクチンについては、メーカー、ロット番号を記載すること） R6.9.6 5混1回目・肺炎球菌1回目・ヘパ`タ`ックスII1回目 R6.10.4 5混2回目・肺炎球菌2回目・ヘパ`タ`ックスII2回目 R6.11.1 5混3回目 R7.1.17 ヘパ`タ`ックスII3回目（MSD Lot. No. Y-XXX）	
間違いの概要	・間違い種別 （過剰接種・ワクチン間違い・接種間隔・過剰量接種・対象年齢外・使い回し・不良ワクチン・不適当者への接種・その他 から選択） 接種間隔（ B型肝炎の3回目接種が1回目接種から20週以上空いていなかった。 ）	
	・予防接種日時 令和7年1月17日（金）午前・午後10時15	
	・間違い発見日時 令和7年4月7日（月）午前・午後10時00分ごろ	
	・内容／原因 （発生に至った経緯・原因、保護者への対応・説明、時系列を含め具体的に記載すること） R7/4/7名古屋市感染症対策課より当院へB型肝炎3回目接種が20週以上空いていないと連絡があったため、間違い接種が発覚した。 R6/7/31に母親が来院し予防接種の申込があり、受付が母子健康手帳で接種歴のないことを確認し予約を受け、事務と看護師でカルテを確認し接種スケジュールを立てた。 8/16初回接種当日、体調不良（高熱37.7℃）のため中止し延期となった。 9/6来院し接種希望されたため、母子健康手帳とカルテを医師と看護師が確認し、医師が予診票を確認のうえ接種した。ただ接種日時時点で生後7ヶ月を過ぎたため、当初の予定と異なり肺炎球菌は初回接種が2回となることを説明した。 R7/1/17来院し肺炎球菌ワクチンも希望されたが、1歳未満だったため、対象年齢外であることを伝えた。その後、B型肝炎ワクチンについても医師と看護師で母子健康手帳とカルテを確認し、対象年齢（1歳未満）のため接種したが、肺炎球菌ワクチン接種の確認に気を取られて、前回からの接種間隔の確認を怠ったため間違い接種となった。 4/7医師から保護者へ連絡し接種間隔誤りに対する説明と謝罪を行いました。また接種後から健康上特に変わった様子はなく、健康被害が発生していないことを確認し何かあれば当院へ連絡するように伝えた。	
	・健康被害発生 ☒1 無 ☐2 有（ 発見の経緯（いつ、どこからの連絡によりわかったか）、発生の原因（現状の確認体制を踏まえてなぜ起こったか）、保護者への対応（謝罪、健康被害発生有無の確認、説明をいつしたのか）を記入 ）	
	・再発防止策 （医療機関における今後の対応、反省点・改善点などを記載すること） 当院では予約時、来院時、接種前にカルテと母子健康手帳で氏名、年齢、ワクチン、接種歴、接種間隔を確認しているが、今回は当初の予定から変更があり変更後のスケジュール確認がなかったことと、B型肝炎ワクチンの対象年齢が期限に迫っていたため接種間隔の確認が疎かになってしまったのが原因である。ただし今回は初回接種が遅れたため対象年齢の内にB型肝炎の接種を終えることができないケースだったので、今後は予約の変更や接種の延期が確認できた時点で事務と看護師で接種スケジュールを組みなおし、接種完了が対象年齢内で可能か医師が確認のうえ、被接種者へ次回以降の接種を連絡することとし、接種間隔についてはカルテに次回接種可能日を記載することとした。 接種間違い発生後に、現状の確認・チェック体制からどこをどのように変更し、再発防止策としたのかを記入	
	・再接種 ☒1 無 ☐2 有	
	・抗体検査 ☒1 無 ☐2 有	
保健センター等の対応	・調査日 令和 年 月 日（ ）	
	（医療機関） ・調査内容等	
	（被接種者） ・連絡日 ・内容等	
	・公表の有無 ☒1 無 ☐2 有	

※ 保健センター記入欄
（医療機関において記入の必要はありません。）

市担当者	記入例③
電話番号	

予防接種の間違い報告書（第1報）

名古屋市記入欄

報告日： 令和7年6月25日(水)

医療機関情報	・医療機関名 ○△クリニック	
	・所在地 名古屋市 △× 区 ○△町×丁目○ー×	
	・電話番号 052-00△-00××	
被接種者情報	(フリガナ) ナゴヤ レイコ	(フリガナ) ナゴヤ ダイスケ
	・被接種者氏名 名古屋 麗子	・保護者氏名 名古屋 大助
	・生年月日(接種時) 令和6年11月4日生(0歳7か月)	・性別 男・女
	・住所 名古屋市○○区 ○○町△丁目	間違いにかかるワクチンのメーカー、ロット番号を記入(ワクチン間違いの場合は本来、接種するはずのワクチンのメーカー及びロットも記入すること。不明の場合はその理由も記入すること。)
	・連絡先 (自宅) 052-×××-○○	
	・予防接種歴 (間違いにかかるワクチンについては、メーカー、ロット番号を記載すること) R7.2.3 B型肝炎1回目、R7.2.10 5混1回目・肺炎球菌1回目・ロタテック1回目 R7.3.3 B型肝炎2回目、R7.5.19 5混2回目・肺炎球菌2回目・ロタテック2回目 R7.6.24 5混3回目・肺炎球菌3回目・ロタテック3回目(MSD Lot. No. Y-XXX)	
間違いの概要	・間違い種別 (過剰接種・ワクチン間違い・接種間隔・過剰量接種・対象年齢外・使い回し・不良ワクチン・不適当者への接種・その他 から選択) 対象年齢外 (ロタテック3回目接種時に対象年齢(生後32週)を過ぎていた。)	
	・予防接種日時 令和7年6月24日(火) 午前・午後10時00分 間違い種別と内容を簡潔に記入	
	・間違い発見日時 令和7年6月24日(火) 午前・午後3時00分ごろ	
	・内容/原因 (発生に至った経緯・原因、保護者への対応・説明、時系列を含め具体的に記載すること) R7/6/24接種後に保護者から生後32週を過ぎていたと保健センターへ相談があり、間違い接種が発覚した。同日、クリニックに間違い接種の連絡があった。 R7/1/10に母親から予防接種の申込があり、受付が口頭で接種歴のないことを確認し予約を受け、来院時に説明する旨を伝えた。 2/3来院時に事務と看護師で母子健康手帳を確認し接種スケジュールを立てて保護者へ説明した。その後、医師と看護師が母子健康手帳、カルテ、予防票を確認しB型肝炎1回目を接種した。 4/7肺炎球菌・5混・ロタテック接種のため来院したが、体調不良のため中止し延期となった。 6/24肺炎球菌・5混・ロタテック接種のため、医師と看護師が母子健康手帳、カルテ、予防票を確認し接種した。ただ当日は3種類のワクチン同時接種で対象年齢についても他のワクチンと同様に月齢計算(生後32週を生後8ヶ月)してしまったため間違い接種(対象年齢外)となった。 同日、医師から保護者へ連絡し接種間隔誤りに対する説明と謝罪を行い了承を得た。また接種後から健康上特に変わった様子はなく、健康被害が発生していないことを確認し何かあれば当院へ連絡するように伝えた。	
	・健康被害発生 ① 無 2. 有 発見の経緯(いつ、どこからの連絡によりわかったか)、発生の原因(現状の確認体制を踏まえてなぜ起こったか)、保護者への対応(謝罪、健康被害発生有無の確認、説明をいつしたのか)を記入	
	・再発防止策 (医療機関における今後の対応、反省点・改善点などを記載すること) 当院では来院時と接種前にカルテ、母子健康手帳、予防票で氏名、年齢、ワクチン、接種歴、接種間隔を確認しているが、今回は他のワクチンと同時接種ということもあり、対象年齢を週齢から月齢へ置き換えて確認してしまったことが原因なので、ロタウイルスについては対象年齢を週齢で確認することを改めて職員間で共有するとともに、来院後にカルテと予防票に接種可能期限(R6.12.16~R7.6.16の間、ロタテック接種可能)を記載し、それから職員が確認する体制を取ることとした。 接種間違い発生後に、現状の確認・チェック体制からどこをどのように変更し、再発防止策としたのかを記入	
保健センター等の対応	・再接種 ① 無 2. 有 ・抗体検査 ① 無 2. 有 「有」の場合は、検査方法と結果を記入	
	(医療機関)	・調査日 令和 年 月 日 ()
	(被接種者)	・調査内容
	(被接種者)	・連絡日
	(被接種者)	・内容等
※ 保健センター記入欄 (医療機関において記入の必要はありません。)		
・公表の有無 1. 無 2. 有 ()		